

**一人の新しい人の実際的な出現のために、
思いの霊の中で新しくされる**

聖書：エペソ 2:15-16, 4:22-24, コロサイ 3:10-11, ローマ 12:2

エペソ 2:15-16——数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄されたからです。それは、彼がご自身の中で、二つのものを一人の新しい人へと創造して、平和をつくるためであり、また十字架を通して、両者をつつからだの中で神に和解させるためでした。それによって敵意を殺してしまったのです。

エペソ 4:22-24——あなたがたは、以前の生活様式において、あの欺きの情欲によって腐敗している古い人を、脱ぎ捨ててしまったのです。そして、あなたがたの思いの霊の中で新しくされ、また、あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造された、新しい人を着たのです。

コロ 3:10-11——新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです。その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隸、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。

ローマ 12:2——またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であった、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわきまえるようになるためです。

- I. **主がこの現在の時代に行なっているあらゆる事は、一人の新しい人の実際的な出現をもたらすことです。これが、地上における今日の主の行動です——エペソ 2:15, 4:24, コロサイ 3:10-11。**
- II. **わたしたちはキリストにある信者として、わたしたちの経験の中で三一の神と協力して、十字架上で終結させられた古い人を脱ぎ捨て、キリストの死と復活を通して創造された新しい人を着るべきです——エペソ 2:15, 4:22, 24：**
 - A. 以前の生活様式において、わたしたちは古い人を脱ぎ捨てなければなりません——22 節：
 1. バプテスマにおいて、わたしたちは古い人を脱ぎ捨てました。わたしたちの古い人は、キリストと共に十字架につけられ、バプテスマにおいて葬られました——ローマ 6:4 前半, 6。
 2. 以前の生活様式とは、思いのむなしさの中を歩くことでした——エペソ 4:22, 17：
 - a. 以前の生活様式には、わたしたちと関係のあるあらゆる事、特に古い人の団体(コミュニティ)の生活が含まれています——22 節。
 - b. 「以前の生活様式……古い人」において脱ぎ捨てることは、わたしたちの生活の仕方を脱ぎ捨てることです——22 節。
 3. 古い人は、「あの欺きの情欲によって腐敗して」います——22 節：
 - a. 「欺き」の前にある定冠詞「あの」は、強調するものです。あの欺きは人格化さ

れています。

b. 「あの欺き」は、あの欺く者サタンを指しており、彼から腐敗した古い人の情欲がやって来ます。

B. わたしたちは、「あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造された、新しい人を着」る必要があります——24 節：

1. バプテスマにおいて、わたしたちは新しい人を着ました——ローマ 6:4 後半。

2. 新しい人は、キリストに属するものです。それは、十字架上で彼の中で創造された彼のからだです——エペソ 2:15-16。

3. 新しい人を着ることは、一人の新しい人の団体の生活を着ることです——4:24：

a. 一人の新しい人としての召会生活を着ることは、神聖な霊と再生された人の霊とのミングリングによって生み出された団体の実体を着ることです——I コリント 15:45 後半、6:17。

b. わたしたちは一人の新しい人の一部ですから、わたしたちの生活は、団体の神・人としての一人の新しい人の生活であるべきです——エペソ 4:17-32。

4. エペソ第 4 章 24 節の「あの実際」は、神の人格化です。あの実際とは、神です。

あの実際の義と聖の中で、一人の新しい人が創造されました。

III. 古い人を脱ぎ捨て、新しい人を着るかぎは、わたしたちの思いの霊の中で新しくされることにあります——エペソ 4:23：

A. 命を与える霊としてのキリストは、今やわたしたちの霊の中におり、これら二つの霊は共にミングリングして、思いの霊を形成しています——II テモテ 4:22、I コリント 6:17。

B. わたしたちの再生された霊の中に住み、ミングリングされている命を与える霊が、わたしたちの思いの中へと広がるとき、このミングリングされた霊は、思いの霊となります。このミングリングされた霊によって、わたしたちの思いは新しくされます——エペソ 4:23。

C. わたしたちの思いの霊の中で新しくされることは、内側の内在的なものです。わたしたちの思いの霊の中で新しくされることは、わたしたちの論理、哲学、考え方、観念、心理に大変革をもたらします——ローマ 12:2。

D. 神の定められた御旨がこの時代において成就されることが可能になる唯一の事は、わたしたちすべてが進んでわたしたちの思いの霊の中で新しくされることです——エペソ 3:11、4:23。

IV. 思いが新しくされることは、一人の新しい人の実際的な出現のためです——エペソ 4:22-24、コロサイ 3:10-11：

A. 一人の新しい人が実際的に実際化されることが出来る唯一の道は、わたしたちの思いが新しくされることによってです——ローマ 12:2、エペソ 4:23-24、コロサイ 3:10-11。

B. わたしたちは実際的に日常生活の中で、わたしたちの思いの霊の中で新しくされる必要があります。そうでなければ、主には一人の新しい人を持つ道がありません。

- C. わたしたちの思いが新しくされる必要があるのは、わたしたちの霊的な振る舞いや、わたしたちの個人的で倫理的な振る舞いのためだけではなく、一人の新しい人の出現のためです——エペソ 4:24。
- D. わたしたちの思いの霊の中で新しくされることを中心点は、一人の新しい人です——23-24 節。
- E. わたしたちの人生を通して、わたしたちは自国の民族的な考え方を建て上げてきました。一人の新しい人の出現のために、この考え方は新しくされなければなりません——23 節：
1. わたしたちの自国の天然的な考え方は、わたしたちの民族的で文化的な背景にしたがって教育され、建て上げられました。これは、一人の新しい人が実際的に出現することに対する最大の妨げです——コロサイ 3:10-11。
 2. 一人の新しい人が完全に出現するようになるために、わたしたちは、自分の国籍と文化にしたがって建て上げられてきたわたしたちの思いが徹底的に新しくされることを経験しなければなりません——ローマ 12:2, エペソ 4:23-24, コロサイ 3:10-11。
- F. わたしたちは祈るとき、一人の新しい人の実行の中へと入る願いを持つ必要があります。こういうわけで、わたしたちは、主がわたしたちの思いを新しくし、わたしたちの内なる存在を造り変えてくださるようにと求める必要があります——ローマ 12:2。
- G. 毎日、わたしたちは古い人を脱ぎ捨て、新しい人を着る必要があります。このためにわたしたちは、一つ霊から飲む必要があります。それはわたしたちが日常生活のあらゆる面において、わたしたちの思いの霊の中で新しくされるためです——I コリント 12:13：
1. わたしたちがその霊から飲むとき、彼はわたしたちの存在のあらゆる部分に浸透します。彼が浸透するわたしたちの魂の第一の部分は、わたしたちの思いです——13 節, ローマ 12:2。
 2. もしわたしたちがその霊から飲むなら、わたしたちは思いの霊の中で新しくされます。このように新しくされることは、わたしたちすべてを一人の新しい人とならせます——エペソ 4:23-24。
 3. わたしたちの思いが新しくされたとき、一人の新しい人が実際的に出現するようになります。そして、キリストが真にすべてとなり、またすべての中におられるようになります——コロサイ 3:10-11。
- H. 「今日、全地で彼を愛し、彼を追い求めて、彼に従う人は、思いの霊の中で新しくされて、一人の新しい人になり、彼をパーソンとし、彼によって生きなければなりません。これが、今日、主が求めておられることです」(「一つからだ、一つ霊、一人の新しい人」、第 8 章)。

2018年国際華語特別集会のための標語

主の回復の目標は、一人の新しい人(団体の、宇宙的な人)を生み出して、
神の永遠の定められた御旨を完成することです。

一人の新しい人の実際的な出現に対するかぎ
(古い人を脱ぎ捨て、新しい人を着ることは、
わたしたちの思いの霊の中で新しくされることです。

わたしたちは一人の新しい人の団体の生活のために、
キリストをわたしたちのパーソンとして、
すべての事でキリストの中へと成長し込み、
イエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶ必要があります。

わたしたちがうまずたゆまず祈ることを通して、
キリストの平安によって支配され、
そしてキリストの言を住まわせるとき、
主はわたしたちに浸透し、わたしたちをご自身で置き換えます。
ついにはわたしたちの天然の区別はすべて除かれ、
わたしたちは実際において新しい人となります。

2018年国際華語特別集会 標語の歌

標語 1

D A D G

主の回ふくのもく標はひとりのあたらしいひと

6

D G A

生み出し、かみの永遠のさだめ

11

Bm Em A D

られた御むねを完せいすること。

標語 2

G D A7

あたらしいひとのしゅつげんのかぎ(ふるいひと脱ぎ、

23

D G A

あたらしいひと着ること)は、おもいの霊のなかで

28

F#m Bm Em A D

あたらし くされ る こと です。

標語 3

D G D G D E

あたらしいひとの生 かつ の た め に、キリス トをわ が パー ス ン と し

42

A Bm D G D

て、すべ て の こ と で キリス ト の な か へ と せい

47

Em F#m Bm G A D

長し、イエスにある 実 際 に し た が っ て キリス トをま な ぶ。

標語 4

D A D G D

うま ず た ゆま ず い の り、キリス トの平 安 に 支 配 さ れ、こ と

64

Em Bm A D

葉を住まわせると き、主はわたしたちに しん透 し、わたしたちを

71

G A D G

ご自身で置き換える。ついに は 天 然 の 区 別 は

78

A G A F#m Bm G A D

のぞかれ、わたしたちは 実 際 に あ た ら し い ひ と と な る。

補607 (E1232)

つみにて死んでいて、この世で調和な
し。かみはわれら生かし、復か
つさせ、天にすわらす。(復)イエスは
あつめられた! かん全にいちとな
る! 主のあいはいち
へと、主の豊満へといたらせる。

- | | | |
|---|----------------------------|------------------------------|
| 2 | すべての聖徒たちと、
超えつしたあい知り、 | 主の大きさを得て、
かみの豊まんへといたる。 |
| 3 | さだめられた御むね、
キリスト、召かいを見て、 | おく義われら知る。
ともにてきはずかしめる。 |
| 4 | 主よ、うちなるひとへ
うちにホームをつくり、 | われをぞうきょうし、
愛に根ざし、土だいづけよ。 |
| 5 | われら組み合わされ、
分に応じてはたらき、 | キリスト供きゅうし、
からだをせいちょうさせる。 |
| 6 | いま、あたらしいひとを
召会、キリストにあり、 | 成就し、われらいち。
かみにえい光あれ、アーメン! |

キリストを経験する——彼に信頼する (E570)



1 うた がい主にわたし、やくそく信じる。



まどわされないので、みこと葉信じる。



(復)完ぜんに信じます、みこと葉信じる。



完ぜんに信じます、みこと葉信じる。

2. つみを主に置いて、 血であらわれる。
主は聖とし、きよめ、 かみにもたらず。

3. おそれ主にわたし、 たましい安そくす。
くらやみのぞかれ、 ひかりかがやく。

4. かん喜、主にわたす、 主は真のかん喜。
主は全世かいの主、 ひつ要のすべて。

5. すべて主にわたす、 たましい、からだを。
のぞみ主にわたし、 えい遠にいたる。